

令和5年度学校経営計画書

岡山県立倉敷琴浦高等支援学校

○本校のミッション（使命、存在意義）

- ・就労できる力を育てる学校
- ・県下の知的障害特別支援学校における職業教育推進の先導的役割を果たす学校

○内外の環境分析

- ・生徒の多くは、本校で学びたいという意欲をもって入学してきている。しかし、本校の教育内容や自己の障害についての理解が十分にできていないことがあり、学習意欲が不足したり、授業への参加に困難さを感じたりしている生徒もいる。また、家庭への支援が必要であったり、対人関係の持ち方や健康面、場にふさわしいふるまい方等に課題があったりする生徒もいる。
- ・地域の小・中学校及び高等学校へのセンター機能が求められている。（中学校への適切な進路指導を含む）
- ・交通の便が悪い。また、学校の近くは道幅が狭い上、交通量が多いなど道路事情も悪い。しかし、交通機関各社は協力的で様々な配慮をしてくれている。
- ・校舎は、急傾斜地崩壊危険個所に接しており、地震や大雨による土砂災害が発生する危険性がある。また、過去の高潮被害範囲の中に通学路がある。
- ・学校周辺に繊維産業をはじめ、多くの企業があり障害者雇用の理解も進んでいる地域であるため、関係機関と連携が取りやすい。現場授業や現場実習の受け入れ等、とても協力的であるが、感染症対応のために、影響を受けやすい業種（医療、福祉、流通など）もある。地域との連携・協働をより深めることにより、地域の活性化及び学校の教育活動の充実につながる。
- ・どの教職員も就労自立を目指す教育に意欲をもっており、3つの課を中心に組織的対応を心がけている。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿） ★重点項目

- ・職業教育に重点を置いた教育課程を編成し、軽度知的障害のある生徒の就労による社会自立を目指す学校
- ・働き続ける力を育成する学校
- ・生徒の安全・安心を支える学校 ★
- ・地域における生徒の様々な活動を通して、地域に貢献し成長する学校 ★

○令和5年度の学校経営目標

- ・生徒のキャリア発達を促す授業の実践・充実
- ・地域、関係機関と連携した進路指導の充実
- ・楽しく充実した学校生活をサポートする体制の充実 ★
- ・共生社会を推進するための支援体制の充実 ★

○令和5年度の具体的な経営目標・計画

○生徒のキャリア発達を促す授業の実践・充実

- ・教科の目標と適切な学習評価を踏まえた上で、働き続ける力と関連づけた授業実践を推進する。★
- ・生徒の自己肯定感を高め、自ら学ぼうとする意欲やチャレンジ精神を喚起する。
- ・生徒の実態や障害特性を踏まえながら、自己理解を深める取組を進める。

○地域・関係機関と連携した進路指導の充実

- ・進路情報を積極的に発信するとともに、本校についての認知度を高めながら職場開拓を推進する。
- ・早い段階から家庭及び各支援機関との連携を図り、組織的なアフターケアにつなげる。
- ・教務課、生徒課と連携を図り、ナビゲーションブックの作成・活用を通し、働き続けるために必要な力の育成に努める。
- ・高等学校等への就労支援を充実する。

○楽しく充実した学校生活をサポートする体制の充実 ★

- ・校内外の活動を通して、学校や地域に貢献する態度や豊かな心を育成する。
- ・自分の思いを発信する力を身につけるための指導の充実を図る。
- ・家庭及び関係機関との連携を図り、生徒の思いを支え、安心できる環境・体制を整備する。★
- ・働き続ける力・生活する力の基礎となる健やかな心と体を育成する。(性に関する指導の充実)

○共生社会を推進するための支援体制の充実 ★

- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活動を通し、地域との協働活動を進める。
- ・交流及び共同学習、外部講師による研修を通じて、自他の人権を守ろうとする意識や態度を育成する。
- ・小・中学校への支援（進路指導を含む）及び高等学校への特別支援教育を支えるセンター的機能を充実する。★

教育目標

将来の社会的・職業的な自立を目指した教育を推進することにより、生徒の自己実現と自立・社会参加を実現し、社会に貢献できる人材を育成する。

目指す生徒像

- ・心豊かでたくましく、主体的に行動する生徒【自律】
- ・夢や目標の実現に向け、粘り強く挑戦する生徒【希望】
- ・社会人・職業人としての役割を自覚し、社会に貢献する生徒【共生】

目指す教師像

- ・指導力・専門性の向上を目指す教師
- ・社会人・職業人としてのモデルを示す教師
- ・学校経営に主体的・組織的に取り組む教師